



農林委員会委員長に就任

岐阜県の農業・林業の未来を切り拓くために

令和8年 第2回岐阜県議会臨時会において、議員各位のご推挙を賜り、農林委員会委員長に就任いたしました。

常任委員会委員長を拝命するのは4回目となります。こうして重責を担わせていただけるのも、日頃から支えてくださる地域の皆様をはじめ、多くのご支援をいただいている皆様のお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。

私の県議会議員としての任期も残すところ一年となりました。最後の一日まで現場の声に耳を傾け、県民の皆様が抱える課題や不安の解決に全力で取り組んでまいります。

農業・林業は大きな転換期を迎えています

農業分野 担い手不足や高齢化の進展、農業用水施設の老朽化に加え、肥料・飼料・燃料価格の高騰、気候変動による異常高温など、生産現場を取り巻く環境は厳しさを増しています。

林業分野 森林技術者の不足や森林所有者の高齢化、森林の集約化、木材の高付加価値化など、多くの構造的課題が山積しています。

私は委員長として、こうした長年先送りされてきた課題に真正面から向き合い、次の時代につながる具体的な成果を生み出してまいります。

取り組む方向性

- 農業所得の向上** 生産性向上と省力化、新たな販路開拓や流通改革、アグリパーク構想の推進による担い手確保を進め、農業所得の向上に挑戦します。
- 林業所得の向上** 県産材の利用拡大やCLTの普及促進、木質バイオマスの活用、針広混交林化や齢級構成の平準化を進め、持続可能な森林づくりと林業所得の向上を目指します。
- 鳥獣被害対策の強化** ニホンジカやニホンザル、ツキノワグマなどの鳥獣被害対策の強化に取り組み、農林業の安定経営と地域の安心・安全を守ります。
- 森林空間の活用と観光の推進** 豊かな森林空間と自然環境を活かした体験型・滞在型観光の推進により、新たな交流人口の創出と地域活性化につなげます。

豊かな農地や森林、美しい自然環境は、先人たちが守り育て、私たちの世代へと受け継いできた大切な財産です。

だからこそ、私たちにはその価値をさらに高め、次の世代へ責任を持って引き継ぐ使命があります。

農林委員会委員長として、岐阜県の農業・林業の未来を切り拓くため、全力で取り組んでまいります。



POTENTIAL

We are in the age of seeking mental happiness, not only with materialistic, quantitative wealth, but also spiritual, qualitative values.

活動報告
Vol. 51

挑戦せずして、未来が開けますか。

県政報告
農業用水確保
のための
農業用水路の
管理体制について



おんだ

よしゆき

恩田 佳幸

農業用水確保のための 農業用水路の管理体制について

未来の農業を支える「水」を守る。

「農業の基盤」を守るために

岐阜県の農業は、地域経済と食料供給を支える重要な基幹産業です。本県には約7,000kmの農業用水路が整備されており、水田約41,200haへ農業用水を供給しています。しかし現在、その農業用水を巡る環境は大きく変化しています。

農業を支える農業用水路
地域農業の生命線です

現場で感じる4つの大きな課題

1 老朽化が進む農業用水路



- 昭和30～40年代に整備
- 漏水や破損が増加
- 山県市内でも必要な時期に十分な用水を確保できない事例も発生

2 コメ増産に向けた用水確保



- 食料安全保障の観点からコメ生産拡大が求められる
- 「ぎふ農業活性化基本計画」においても重要施策に位置付けられている。
- 増産には「水」がなければ成り立たない

3 気候変動による渇水リスクの増加



- 猛暑や少雨傾向が続く
- 全国各地で渇水被害が発生（昨年は新潟県や東北地方で深刻な渇水）
- 水不足で収量低下や品質低下の懸念

4 維持管理体制の弱体化



- 基幹的農業従事者の平均年齢70.1歳（全国平均より高齢化）
- 土地改良区や水利組合の担い手不足が深刻
- 草刈りや泥上げなどの維持管理が困難な現場も増加

農家負担の増加という現実

今回の質問に至った背景には、現場の切実な声があります。水不足により、井戸や排水路等からポンプアップして水を確保している地域があります。

しかし、そのためにはガソリン代や電気代が必要となり、農家負担は増加しています。さらに、肥料価格や燃料費、資材価格の高騰も続いています。

「コメ価格は上がったが利益は増えていない」※令和7年の意見

これは、多くの農家の皆さんから聞く現実の声です。農業を持続可能な産業として守っていくためには、農業用水の安定供給と維持管理体制の強化が不可欠です。



岐阜県議会議員 恩田佳幸 事務所

討議資料

HP 恩田 佳幸 検索



〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬846-1 TEL 0581-32-9597 FAX 0581-32-9598

質問

コメ増産に向け農業用水を安定的に確保するため、農業用水路の整備や維持管理を今後どのように進めていくのか、県としての考えと今後の取り組み方針をお聞かせください。



県の答弁（農政部長）

米の増産に向けて農業用水を安定的に確保するためには、水の取り入れ口から農地までの農業用水路が健全に維持され、通水機能が発揮されていることが重要であると考えております。

現在、老朽化した水路が増加していることから、受益面積100ha以上の基幹的農業用水路につきましては、全ての施設の状況を点検し、劣化が進行する前に補修する長寿命化の取り組みを進めております。

また、農地に近い末端水路につきましては、令和8年度から支援制度を創設し、市町村等による補修工事の実施を促進してまいります。

さらに、農業者の減少や高齢化による農業水利施設の維持管理体制の弱体化へ対応するため、土地改良区が市町村等と連携し、施設を将来にわたって適正に保全・管理するための計画策定を支援するほか、管理の省力化のため、ICTを活用して遠隔で監視・操作ができるゲートやポンプの整備を進めてまいります。

加えて、近年の気候変動による渇水リスクに対応できるよう、井戸の設置や応急ポンプのリース代等についても支援してまいります。

令和8年3月13日

農業用水路の整備・維持管理に向けた5つの取り組み

1 基幹的農業用水路の長寿命化

受益面積100ha以上の基幹的農業用水路について、全ての施設の状況を点検し、劣化が進行する前に補修を行う「長寿命化」を進める。



2 末端水路への新たな支援制度（令和8年度～）

農地に近い末端水路については、令和8年度から新たな支援制度を創設し、市町村等による補修工事を実施します。令和8年度から市町村の負担を10%軽減



3 維持管理体制への支援

土地改良区が市町村等と連携し、施設を将来にわたって適正に保全・管理するための計画策定を支援する。



4 ICTを活用した省力化

遠隔監視・遠隔操作が可能なゲートやポンプの整備を進め、管理の省力化を図る。



5 渇水対策への支援（令和8年度拡充）

渇水・高温対策として、井戸の設置や応急ポンプのリース代などについても支援を行う。



農業経営高度化支援事業費補助金

山県市でも県営かんがい排水事業のうち農地集積促進型を活用し、地域計画による農地利用集積・農地の集約化した割合に応じて農業用水路の建設・修繕の地元負担額を軽減できます。



農業の未来は、**水**を守ることから始まる。